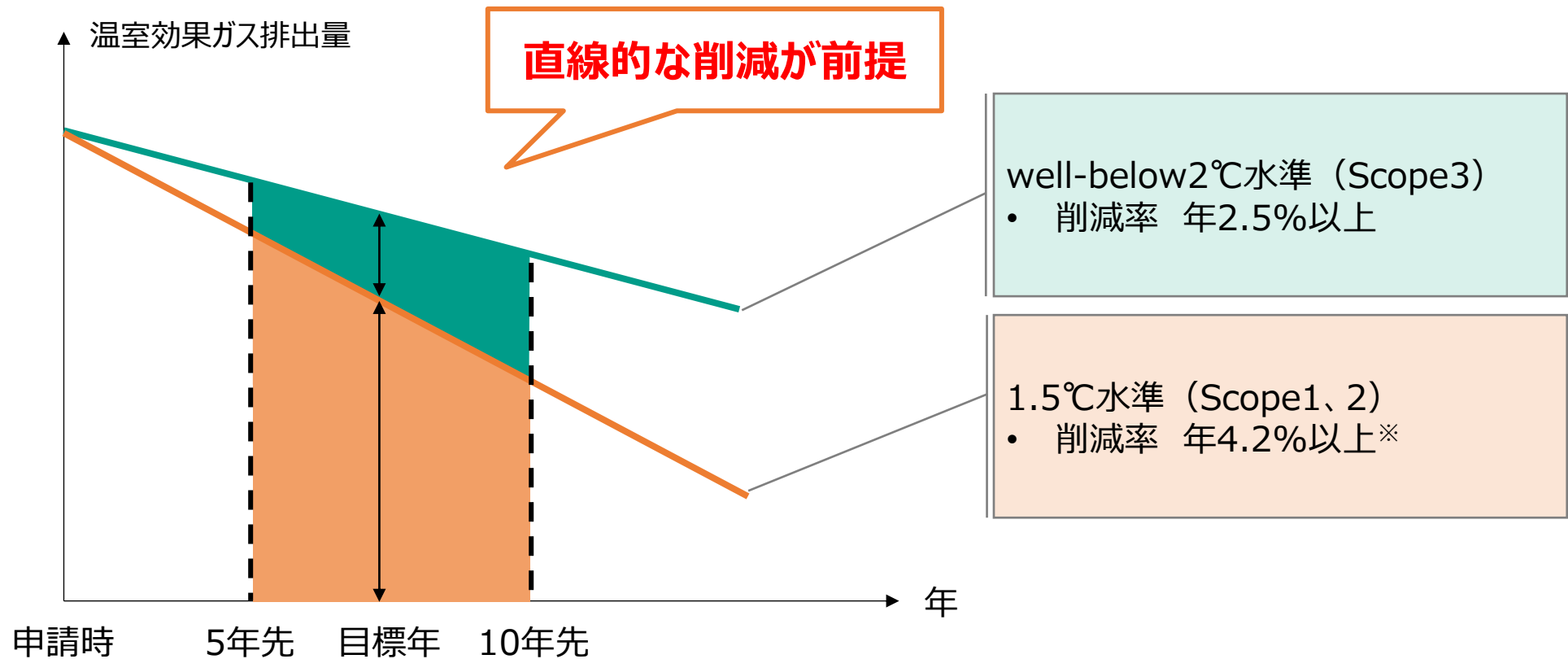

7. 短期SBTの設定手法

- Scope1,2のSBT設定手法として、原則「**総量削減**」、「**SDA**」の2手法を推奨している。

手法	概要	基準	認定水準
総量削減 Absolute Emissions Contraction	<ul style="list-style-type: none"> （当初の排出量実績に関係なく）全企業が排出総量を同じ割合で削減する手法。 目標の設定と進捗状況の把握が容易で分かり易い手法。 多くのセクターに応用が可能（ただし、使用が推奨されないセクターもある）。 	総量	1.5℃
SDA Sectoral Decarbonization Approach	<ul style="list-style-type: none"> IEAが定めたセクター別の原単位の改善経路に沿って削減する手法 SDAを利用可能なセクターは下記の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 空輸 ✓ 住宅建築 ✓ サービス・商業ビル ✓ セメント ✓ 金融機関 ✓ 鉄鋼 ✓ 海運 ✓ 電力 	原単位	1.5℃ (IEA B2DSシナリオ)

手法その1 総量削減 (Absolute Emission Contraction)

- ◆ 全企業が排出総量を同じ割合で削減する手法。
- ◆ 基準年から毎年同量を削減していく想定で、申請時から5～10年後の目標を設定。



※ 2026年4月29日にSBTiホームページにて公表された改定では、2050年までのネットゼロ達成及び基準年から目標年までの最低年間削減率の下限を4.2%とすることは維持されつつも、短期目標における排出削減量の算定方法が基準年と目標年を考慮する算定方法に変更された。これにより、2026年・2027年に新たに目標を設定する企業が設定する削減率が過度に厳しくなることを防ぐとともに、今後、削減目標を更新する企業が、過去の削減実績を踏まえた削減計画を立てることができるようになる。なお、従来の削減率の算出方法に基づいて認定された目標は引き続き有効である。

[出所] SBTi公式ホームページ (<https://sciencebasedtargets.org/news/the-sbti-updates-the-absolute-contraction-approach-to-improve-consistency-and-implementation-while-maintaining-net-zero-ambition>)

- ✓ 総量削減アプローチは、全企業が排出総量を同じ割合で削減するものであるが、当然、部門・業種・業態によって、排出の実態やこれまでの削減取組の進捗も異なる。
- ✓ このため、SBTではいくつかの部門について、**2050年の、何らかの活動量当たりの原単位の低減水準を設定し、**その部門に該当する企業は、その原単位まで下げるという目標を設定するアプローチも用意している。

⇒ **Sectoral Decarbonization Approach (SDA)**

※具体的な2050年の部門ごとの原単位目標は、IEAが実施した最適化計算による原単位予測をベースにして、SBTiにて設定している。

- ✓ SDAの設定ではSBTiが公開している計算ツールを利用。
- ✓ 計算ツールに「部門」、「基準年・目標年」、「事業活動・排出量に関するデータ」を入力すれば、**目標とする原単位の改善率、削減量、削減率、削減経路が自動で計算される！**

※最新のSBTツール（Ver.2.5）では、化学・石油化学部門のScope1、2計算には利用できない。

セクター別ガイダンスの準備状況



セクター	サブセクター	セクター別リソースの使用要否	目標設定に使用するリソース	セクター別リソースの状況
自動車	自動車	陸上輸送セクター別ガイダンスの使用	Land Transport Science-Based Target-Setting Guidance	新基準策定中
化学	化学	要件を満たす企業に対して必須※1	Chemical Sector Pathways and Implementation Criteria	公表済：12月25日
輸送（陸上）	陸上輸送	要件を満たす企業に対して必須	Land Transport Science-Based Target-Setting Guidance	公表済：10月24日
電力	電力	要件を満たす企業に対して必須	Quick Start Guide for Electric Utilities	公表済：6月20日（更新版策定中）
金融機関	金融機関（ネットゼロ）	要件を満たす企業に対して必須	Financial Institutions' Net-Zero Standard	公表済：7月25日
金融機関	金融機関（短期目標）	要件を満たす企業に対して必須	Financial Institutions' Near-Term Criteria	公表済：4月22日（更新：5月24日、V2.0）
森林・土地・農業	森林・土地・農業（FLAG）	要件を満たす企業に対して必須	Forest, Land and Agriculture Science-Based Target-Setting Guidance	公表済：9月22日（更新：12月23日、V1.1）
建築環境	建築物	要件を満たす企業に対して必須	Buildings Sector Science-Based Target-Setting Criteria	公表済：8月24日（更新：6月25日、V1.1）
産業	鉄鋼	推奨※2	Steel Science-Based Target-Setting Guidance	公表済：7月23日
輸送	海上輸送	推奨※3	Science-Based Target-Setting Guidance for the Maritime Transport Sector	公表済：5月23日
輸送	航空輸送	推奨※3	The SBTi Interim 1.5°C Sector Pathway for Aviation	公表済：2月23日
産業	セメント	推奨※3	Cement Science-Based Target-Setting Guidance	公表済：9月22日
エネルギー	石油・ガス	使用不可	現時点では目標設定対象外	一時停止中

※1 化学セクター・パスウェイは、当該セクターに固有の事業活動を対象としており、「[Chemical Sector Pathways and Implementation Criteria](#)」P13に記載されているとおり、企業の事業内容に応じて必須又は任意となる場合がある。

※2 「[Steel Science-Based Target-Setting Guidance](#)」P9に定められた基準を満たす企業は、「[Steel Guidance in Brief](#)」P2に要約され、同ガイダンスP30～33に詳述されているコア・バウンダリー・アプローチを使用しなければならない。

※3 セクター別リソースの使用が推奨されているが必須ではない企業は、目標設定にあたり「[SBTi企業短期目標基準](#)」または「[SBTi企業ネットゼロ基準](#)」を使用することができる。

[出所] SBTiウェブサイト Sector Resources Summary (<https://sciencebasedtargets.org/sector-resources-summary>) より作成（2026年5月11日現在）